

(17) 柔道競技

1 期 日 平成 27 年 8 月 16 日(日)
開場 午前 8 時 00 分

2 会 場 埼玉県立武道館
〒362-0032 埼玉県上尾市日の出 4-1877 TEL 048-777-2400

3 種別及び参加人員

種 別	監 督	選 手	参加都県	小 計	合 計	本大会出場数
成年女子	1	3	8	32	112	4
少年男子	1	5	8	48		4
少年女子	1	3	8	32		4

4 競技方法及び本大会出場資格の決定方法

(1) 各種別ともリーグ戦と順位決定戦により本大会出場資格チームを決定する。

ア リーグ戦

各種別とも 4 チームずつ 2 ブロックに分ける。前年度上位 2 チームを両ブロックに分け抽選で A・B ブロックを決定し、ブロック毎のリーグ戦を実施する。

ブロック毎に順位を決定し、A・B 両ブロックの 1 位 2 チームに本大会出場資格を与える。

イ 3 位・4 位決定戦

各種別とも A ブロックの 2 位と B ブロックの 3 位。B ブロックの 2 位と A ブロックの 3 位が対戦し、その勝者 2 チームに本大会出場資格を与える。

(2) 試合は国際柔道連盟試合審判規定による。

ア 勝敗の決定基準は「一本」「技あり」「有効」「僅差」とする。「僅差」とは、双方の選手間による評価（技あり・有効）がない、又は同等の場合、「指導」差が 2 以上あった場合に少ない選手を「僅差」による優勢勝ちとする。得点差が無く、かつ「指導」差が 1 以内の場合は「引き分け」とする。

イ 試合時間は、4 分間とする。

(3) チーム間の勝敗決定方法

ア 勝者数の多いチームを勝ちとする。

イ アで同等の場合は、「一本」（それと同等の勝ちを含む）による勝者数の多いチームを勝ちとする。

ウ イで同等の場合は、「技あり」による勝者数の多いチームを勝ちとする。

エ ウで同等の場合は、「有効」による勝者数の多いチームを勝ちとする。

オ エで同等の場合は、リーグ戦は「引き分け」とし、順位決定戦は「引き分け」であった対戦の中からから抽選で 1 組を選び、3 分間のゴールデンスコア方式の代表戦により、勝敗を決する。（先に「有効」以上の技評価を得た選手が勝ちとなり、先に「指導」を与えられた選手が負けとなる。）

(4) リーグ戦における順位は次の順とする。

ア 3勝、2勝1引分け、2勝1敗、1勝1引分け1敗、1勝2敗、3引分け、2引分け1敗、1引分け2敗、3敗の順とする。

イ アで同等の場合は、リーグ戦を通じて（ウ以下同様）勝者数の多いチームを上位とする。

ウ イで同等の場合は、「1本」による勝者総数の多いチームを上位とする。

エ ウで同等の場合は、「技あり」による勝者総数の多いチームを上位とする。

オ エで同等の場合は、「有効」による勝者総数の多いチームを上位とする。

カ オで同等の場合は、敗者総数の少ないチームを上位とする。

キ カで同等の場合は、「1本」による敗者総数の少ないチームを上位とする。

ク キで同等の場合は、「技あり」による敗者総数の少ないチームを上位とする。

ケ クで同等の場合は、「有効」による敗者総数の少ないチームを上位とする。

コ ケで同等の場合は、抽選によって順位を決定する。

- (5) 柔道衣（背中）には、必ず下記の要領で所属都県名と苗字（姓）を明示したゼッケンを縫い付ける。（ゼッケンの重ね縫いは禁止する。）

【例】

図1 ゼッケンの縫い付け方（例）

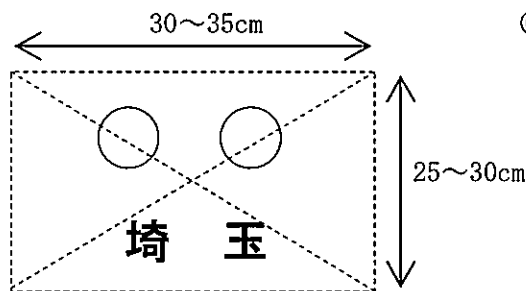
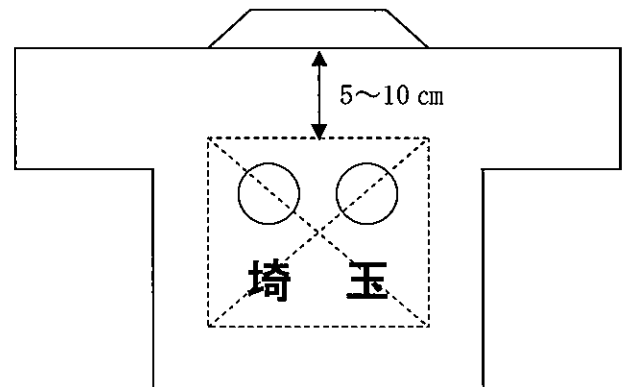


図2 ゼッケンの位置

◎ゼッケンは強い糸で図示のように縫い付けること。



ア 図1の-----の部分に縫い付けること。（縦横ならびに対角線）

イ 図2のとおり、後ろ襟から5～10cm下部に縫い付けること。

ウ 苗字を上側2/3、都県名を下側1/3に記載すること。

エ 書体は太いゴシック体（または楷書）、男子は黒色、女子は濃赤色。

オ サイズは縦25～30cm、横30cm～35cmとする。

5 組合せ

組合せは、平成27年4月28日（火）東京において、関東各都県柔道連盟会長が行う。

6 審判員

- (1) 審判長は、主管都県が指定する。
- (2) 審判員は、全日本柔道連盟公認審判員Bライセンス以上を有する者とし、主管都県7名、他の都県は、3名を派遣する。
- (3) 審判員は、当該都県の試合の審判に当たらないものとする。

7 参加資格、所属都県及び年齢基準

第70回国民体育大会関東ブロック大会総則8に定めるもののほか、次による。

- (1) 参加者は、（公財）全日本柔道連盟に登録をしており、登録をした都道府県からのみ参加でき

る。

- (2) 成年種別に「国民体育大会ふるさと選手制度」で参加する者は、登録を行った都道府県にかかわらず、該当する都道府県から参加できる。
- (3) 監督は、公益財団法人日本体育協会公認スポーツ指導者制度に基づく、公認柔道コーチ、公認柔道上級コーチ、公認柔道指導員、公認柔道上級指導員の何れかの資格を有する者。
- (4) 選手の配列順位
 - ア 成年女子
先鋒（体重 52 kg 以下の者）、中堅（体重 52 kg を超え 70 kg 以下の者）、大将（体重無差別）の順に配列すること。
 - イ 少年男子
先鋒（体重 60 kg 以下の者）、次鋒（体重 60 kg を超え 73 kg 以下の者）、中堅（体重 73 kg を超え 90 kg 以下の者）、副将（体重 90 kg を超え 100 kg 以下の者）、大将（体重無差別）の順に配列すること。
 - ウ 少年女子
先鋒（体重 52 kg 以下の者）、中堅（体重 52 kg を超え 70 kg 以下の者）、大将（体重無差別）の順に配列すること。
- (5) 体重制限のある選手は、平成 27 年 8 月 15 日（土）14 時 00 分～15 時 00 分の計量に合格した者。予備計量は 13 時 30 分～14 時 00 分とする。
- (6) 選手の年齢基準
 - ア 成年種別に参加する者は、平成 9 年 4 月 1 日以前に生まれた者とする。
 - イ 少年種別に参加する者は、平成 9 年 4 月 2 日以降に生まれた者とする。
ただし、中学生以下の生徒及び児童は参加することができない。

8 参加・宿泊申込み

- (1) 第 70 回国民体育大会関東ブロック大会総則、宿泊要項を熟読のうえ、参加申込書、参加者負担金及び宿泊申込書等を定められた期限までに指定された場所に提出すること。
- (2) 参加申込みは、平成 27 年 7 月 16 日（木）までに国体参加申込システム関東ブロック大会申込ページ（所定の Web ページ）にアクセスし、必要事項を記入の上、所属都県体育協会の承認を経て、申込手続きを完了すること。なお、期日までに完了しない場合は理由のいかんを問わず、大会の参加を認めない。
- (3) 宿泊業務取扱機関は「株式会社日本旅行埼玉支店」とする。

9 参加上の注意

- (1) 計量は、指定された時間内に終了すること。
- (2) 選手は、健康診断を受け、健康であることが証明された者であること。
- (3) 申し込み後、選手に事故が起きたときは、所定の選手変更用紙を 8 月 15 日（土）13 時 00 分～13 時 30 分までに、医師の診断書を添えて大会本部に提出すること。

10 その他

- (1) 練習会場
日 時：平成 27 年 8 月 15 日（土） 13 時 00 分～17 時 00 分
場 所：埼玉県立武道館 第一道場
日 時：平成 27 年 8 月 16 日（日） 8 時 00 分～12 時 00 分
場 所：埼玉県立武道館 第一道場

- (2) 計 量 日 時：平成 27 年 8 月 15 日(土) 14 時 00 分～15 時 00 分
場 所：男子……埼玉県立県武道館 第三会議室
場 所：女子……埼玉県立県武道館 第二会議室
- (3) 審判会議 日 時：平成 27 年 8 月 15 日(土) 15 時 00 分～16 時 00 分
場 所：埼玉県立県武道館 第一・二会議室
- (4) 監督会議 日 時：平成 27 年 8 月 15 日(土) 16 時 00 分～17 時 00 分
場 所：埼玉県立県武道館 第一・二会議室
- (5) 開 会 式 平成 27 年 8 月 16 日(日) 9 時 00 分
- (6) 試合開始 平成 27 年 8 月 16 日(日) 9 時 30 分
- (7) 脳震盪対応について

ジュニア選手（20 歳未満）及び指導者は下記事項を遵守すること

- ア 大会前 1 ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
- イ 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。
(なお、至急、専門医（脳神経外科）の精査を受けること。)
- ウ 練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
- エ 当該選手の指導者は大会事務局および全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。
- (8) 事務局及び連絡先

国体関東ブロック大会柔道競技事務局

〒330-0074 埼玉県さいたま市浦和区北浦和 5-6-5 埼玉県浦和合同庁舎内 埼玉県柔道連盟

TEL 048-822-5891 FAX 048-833-8618 E-mail:judo@saijuren.jp